

シーシーエス株式会社
2012年7月期第3四半期
決算説明



2012年6月13日

JASDAQ コード6669

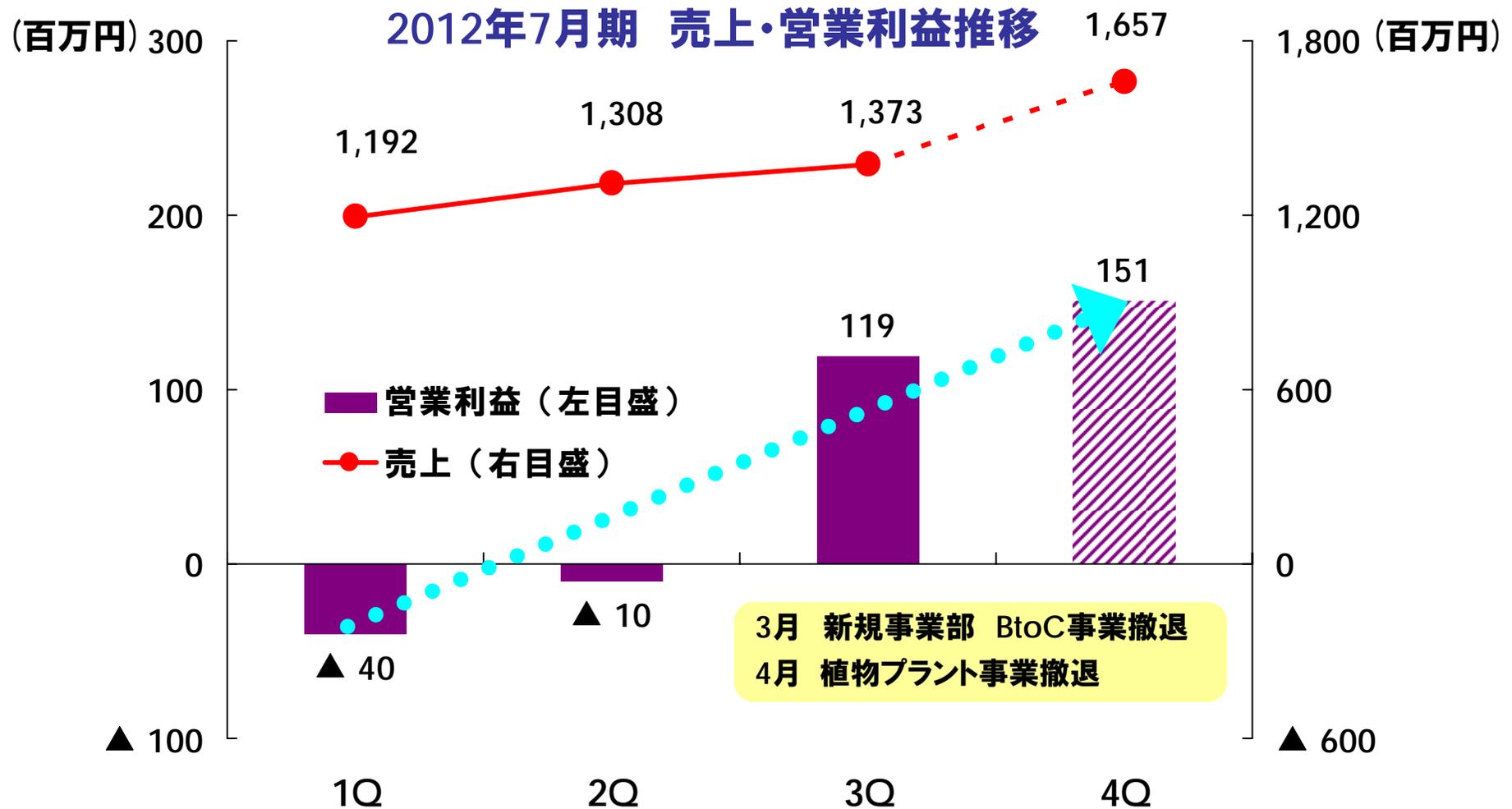
目次

1. 2012年7月期 第3四半期決算概要
2. 2012年7月期 第3四半期事業分野別の状況
3. 参考資料：会社概要

1. 2012年7月期 第3四半期決算概要

決算キーポイント

■不採算事業からの撤退により3Qから営業利益黒字化。
収益性は急速に改善へ。



FPT清算の進捗について

■2012年3月13日

「植物育成プラント事業の廃止、
子会社フェアリープラントテクノロジー(FPT)の清算」
をする方針を決定

・2012年4月末 植物育成プラント事業を廃止

〈今後の予定〉

・工場売却

→順次進めており、今期中完了の見通し

・最大610百万円の特別損失

→圧縮し、損失は今期中に計上完了を目指す

2012年7月期第3四半期業績(連結)



(単位:百万円)

	2011/7期3Q		2012/7期3Q		変動	
	累計実績		累計実績		前年同期比	
	金額 [A]	売上比 (%)	金額 [B]	売上比 (%)	[B]-[A]	[B]/A]-1 (%)
売上高	3,963	100.0	3,873	100.0	▲90	▲2.3
売上総利益	2,364	59.7	2,254	58.2	▲110	▲4.7
販管費	2,185	55.1	2,185	56.4	0	0
営業利益	179	4.5	68	1.8	▲110	▲62.0
経常利益	157	4.0	25	0.7	▲131	▲83.5
当期純損益	60	1.5	▲63	▲1.6	▲124	-

	前年同期比	キーポイント
売上高	➡	欧州の経済危機により売上は減少
販管費	➡	前年同等
営業利益	➡	新規事業分野の赤字により減少
当期純損失	➡	BtoC事業撤退による損失計上

事業別の状況

(単位:百万円)

売上高	2011/7 期3Q	2012/7 期3Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	3,831	3,820	▲11	▲0.3
植物育成プラント事業	45	53	8	17.8
その他事業	87	—	▲87	—

LED照明事業は、欧州の経済危機、為替の影響により前年と比べ売上が減少しました。

(単位:百万円)

営業利益	2011/7 期3Q	2012/7 期3Q	増減	
	累計実績 [A]	累計実績 [B]	前年同期比 [B] - [A]	[B] / [A] - 1(%)
LED照明事業	434	197	▲237	▲54.6
植物育成プラント事業	▲183	▲131	52	—
その他事業	▲58	—	58	—

その他事業～野菜事業、レストラン・カフェ事業(その他事業)は2010年9月をもちまして撤退しました。
植物プラント事業は2012年4月をもちまして撤退しました。

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

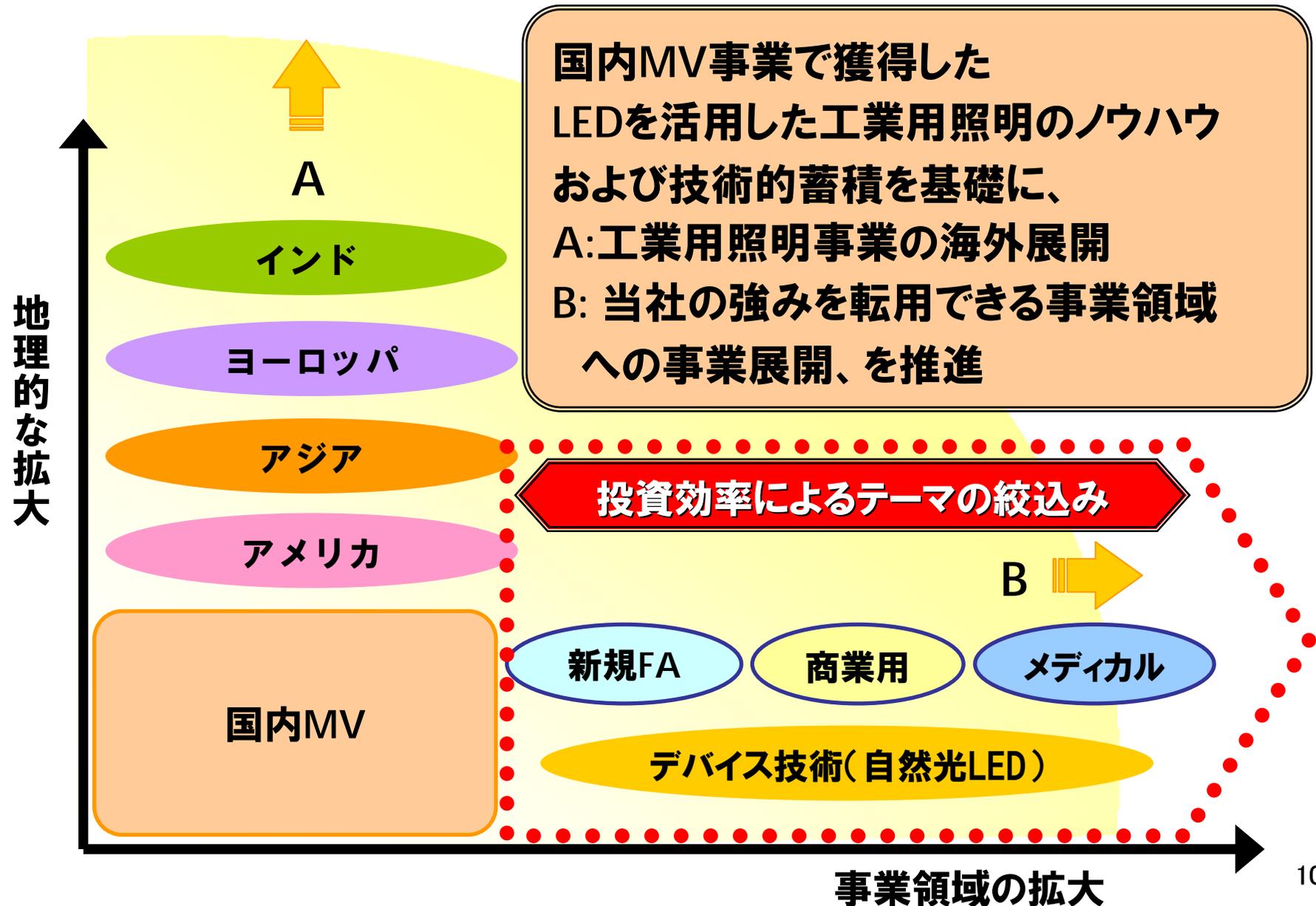
資産	11/7 期末	12/7 3Q末	負債・純資産	11 /7 期末	12/7 3Q末
現金及び預金	1,763	1,330	流動負債	2,956	2,050
受取手形・売掛金	1,324	1,314	固定負債	1,126	1,838
たな卸資産	1,025	1,177			
その他	167	177			
流動資産合計	4,281	3,999	負債合計	4,082	3,889
有形固定資産	1,704	1,691	資本金	461	462
無形固定資産	65	61	資本剰余金	1,513	1,514
投資その他の資産	127	124	利益剰余金	249	144
			為替換算調整勘定	▲127	▲132
固定資産合計	1,897	1,877	純資産合計	2,097	1,988
資産合計	6,179	5,877	負債・純資産合計	6,179	5,877

短期借入金を長期借入金へ借り替えしたこと等により、流動負債が減少し、固定負債が増加しています。

2. 2012年7月期第3四半期 事業分野別の状況

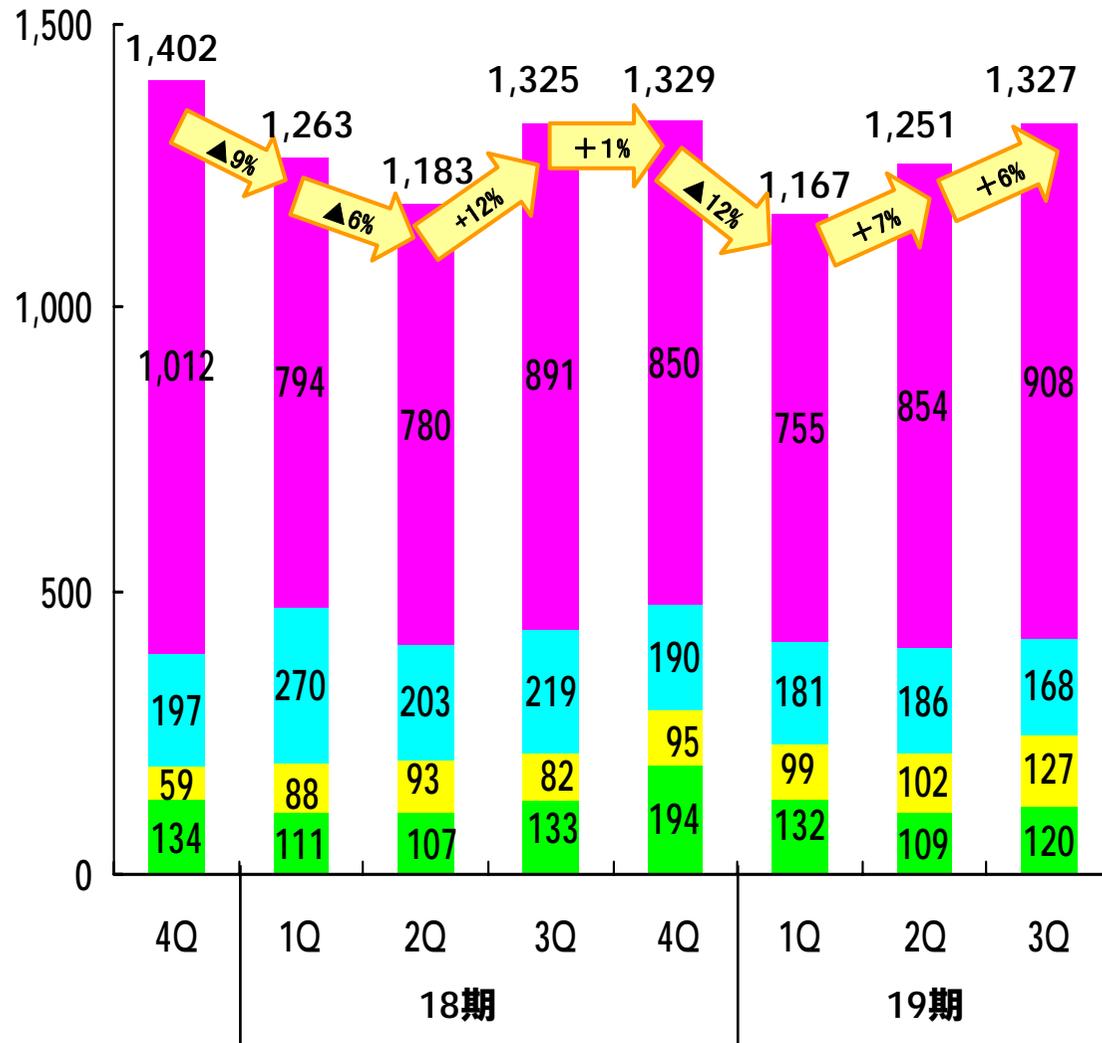
- ① 当社の事業戦略
- ② 工業用照明事業
- ③ 新規事業
- ④ 植物育成プラント事業

①当社の事業戦略



②工業用照明事業 地域別売上高(四半期毎)

(単位:百万円) (2011年7月期4Q~2012年7月期3Q)

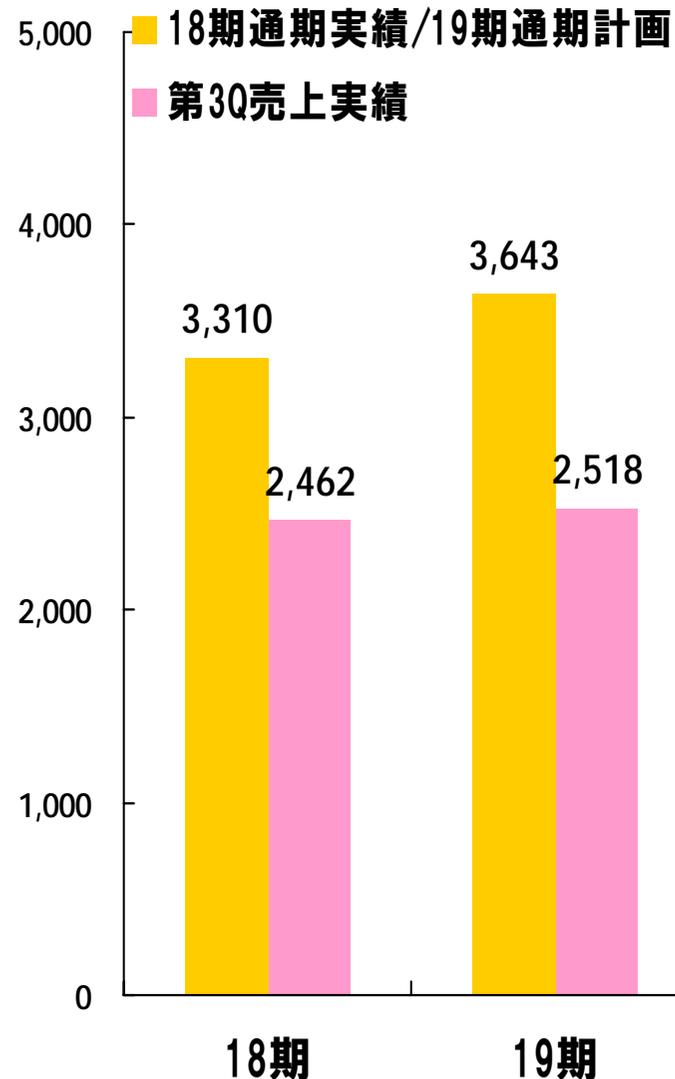


■ アジア工業用照明 ■ 北米工業用照明 ■ 欧州工業用照明 ■ 国内工業用照明

重要分野	国内業界状況
電子半導体 →	スマートフォン・ タブレットPC向けは好調 なものの、 PC向けは苦戦
太陽電池 ↘	投資一巡、価格競争激化、 中韓メーカーの猛追で減 少傾向
二次電池 →	リチウムイオン電池向けが 好調
自動車 →	東日本大震災やタイ洪水 の影響がほぼなくなり、回 復基調
三品 (食品・薬品・ 化粧品) →	製缶・容器・ペットボトルを 中心に堅調に推移 また薬品関連も安定して 推移

②工業用照明事業(国内)

(単位:百万円)



当社の状況

◎東日本大震災やタイの洪水の影響による生産活動停滞から徐々に回復基調へ。

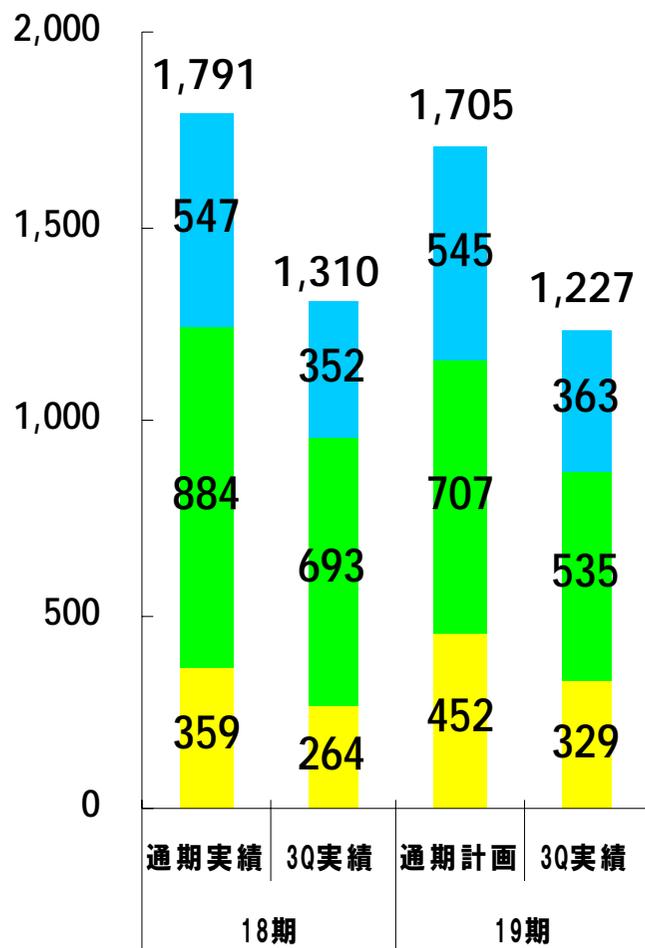
・電子・半導体業界はスマートフォン・タブレットPC向けが活況。

・景気変動を受けにくい食品・薬品・化粧品業界は堅調に売上が増加。

・UV照射器、ラインセンサ用照明の製品領域を拡大。加工から検査までトータルに照明を提案。新規顧客開拓に注力。

②工業用照明事業(海外)

(単位:百万円)



■ アジア (工業用照明)
 ■ 欧州 (工業用照明)
 ■ 北米 (工業用照明)

当社の状況

◎為替影響額60百万円。(欧州36百万円、北米20百万円、アジア4百万円)

【欧州】

欧州経済危機の再燃やユーロ安の進行により売上は減少。

【北米】

前期に注力した主要顧客への関係強化および、営業強化が実を結び、売上伸長。

【アジア】

タイの洪水による企業の生産活動への影響を受けたものの、中国において品質の高さが評価され、売上は堅調に推移。

<2011/7 3Qレート>

1USD=83.17円 1EUR=112.77円 SGD=64.07円

<2012/7 3Qレート>

1USD=78.43円 1EUR=105.56円 1SGD=62.22円

②工業用照明事業(トピックス)

製品ラインナップを更に充実(新製品の投入)

- ・蛍光灯市場への置換え需要に対応、
ラインセンサ用LED照明「LND2シリーズ」発売(2012年5月発売)

フィルムや液晶などの検査に最適。

ライフサイクルコストの大幅な削減を提案。



LND2シリーズ

- ・高性能デジタル電源を欧米市場へ展開、
「PD3シリーズDC24V入力タイプ」発売 (2012年5月発売)

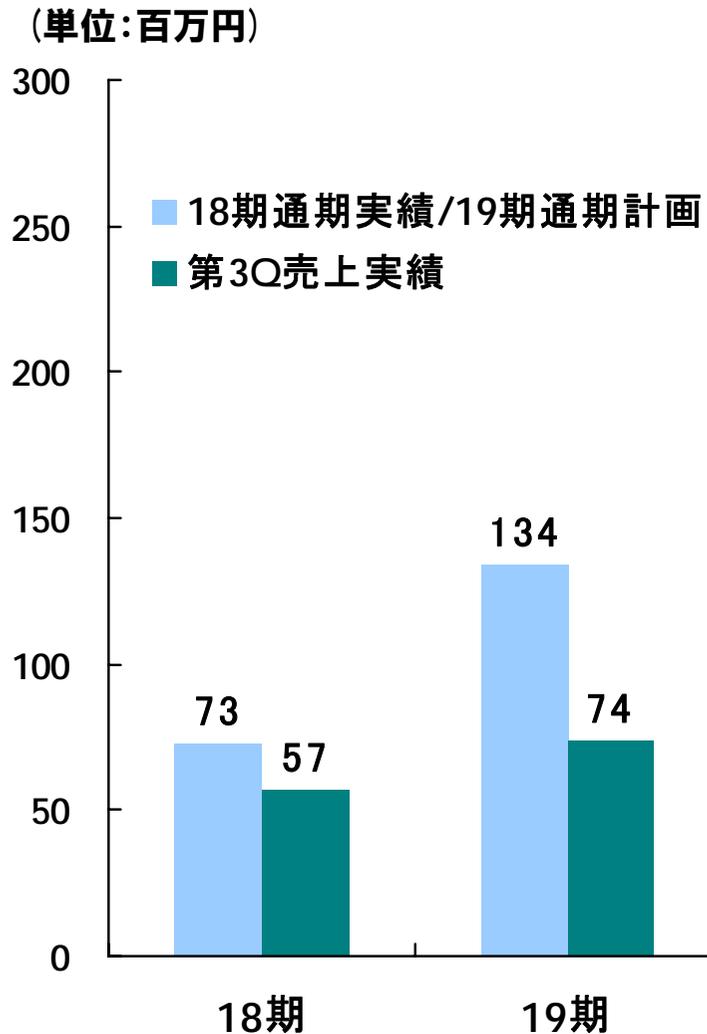
欧米市場で広く普及されているDC入力、

外部制御方式イーサネットタイプをラインアップ。



PD3シリーズDC24V入力タイプ

③新規事業



当社の状況

- ◎**コンシューマー向け製品開発を中止、優位性を持って展開できる事業領域に特化。→営業利益改善傾向へ。**
- ・**ウシオライティング株式会社とステージ・スタジオ照明をターゲットに業務提携を締結。「Cool Spot LED」を共同開発(2011年8月)。**
- ・**美術館・博物館向けへ展開。山口県立美術館にて演色性の高さが評価され採用(2012年4月)。**
- ・**メディカル向け製品開発を完了し、メディカル分野へ本格参入(2012年4月)。**

③新規事業(トピックス)

「自然光LED」製品を中心とした製品ラインナップの拡充

- ・ステージスタジオ照明市場をターゲットに
ウシオライティング株式会社と業務提携(2011年8月)



Cool Spot LED



- ・「自然光LED」搭載スポットライト
- ・Ra:97(平均演色評価数)
- ・華やかな衣装・人の肌・花・料理など、
それぞれがもつ独特の色合いを再現
- ・ホテルや施設のバンケット、ウェディング会場、店舗、
ショールーム、商業施設などで使用

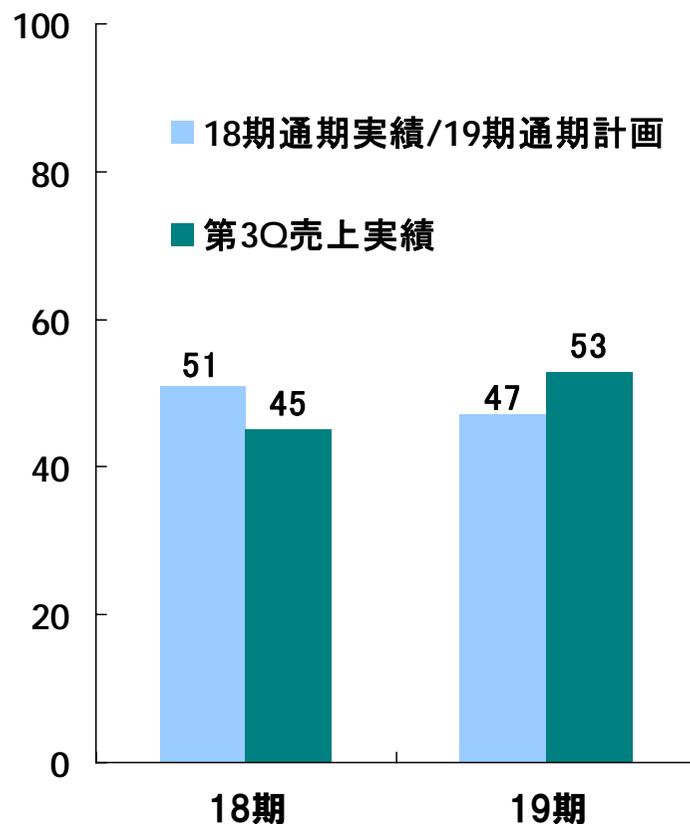
・山口県立美術館で採用

- ・2012年4月26日リニューアルオープンの
山口県立美術館 展示室Cで演色性の
高さが評価され採用
- ・平均演色評価数 Ra:95以上
(相関色温度:3,000 K~5,000 K)



④植物育成プラント事業

(単位:百万円)



当社の状況

◎アライアンスによる受託栽培を開始したものの、利益確保には至らず中止。

・2012年4月末日をもって植物育成プラント事業から撤退。

・株式会社フェアリープラントテクノロジーを今期中に清算の予定

3. 参考資料 ～会社概要～

光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

『お客様に愛と感謝』を実践するために、
「QUALITY FIRST」を堅持し、
顧客の付加価値の創造を極めることによって、
「安心」と「信頼」と「感動」を提供し、
お客様満足の最大化をはかります。

会社概要

- 商号 シーシーエス株式会社
- 本社所在地 京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
- 代表者 代表執行役社長 各務 嘉郎
- 創業 1992年
- 設立 1993年10月
- 資本金 461百万円
- 従業員数 連結 217名(連結)、179名(単体)
- 発行済株式総数 普通株式 20,660株
A種優先株式 5,103株
- 株主数 普通株式 2,890名
A種優先株式 4名
- 連結子会社 CCS America Inc. / CCS Asia PTE.LTD./ CCS Europe NV./CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVT.LTD.
- 拠点数 国内 6ヵ所 / 海外(連結子会社含む) 7ヶ所



本社(京都市上京区)

(2011年7月末現在)

沿革

- 1992 創業
- 1993 シーシーエス株式会社設立
- 1994 画像処理用LED照明事業に特化
- 1999 CCS America Inc.(100%子会社)を設立(ボストン)
- 2000 東京営業所を開設(品川区高輪台)
- 2001 本社移転(現在の本社)
- 2003 上海事務所を開設(中国 上海市)
- 2004 ジャスダックに上場
RDV(S)PTE LTD社を子会社化(シンガポール)
CCS Europe NV(100%子会社)を設立(ベルギー)
名古屋テストングルームを開設(名古屋市西区)
- 2005 生産拠点と物流拠点を統合し、生産センターを開設(京都市下京区)
- 2007 仙台テストングルームを開設(宮城県仙台市青葉区)
KRPで研究開発事務所を開設(京都市下京区)
山口大学との共同開発で自然光LED照明を開発
- 2008 シーシーエス光技術研究所を開設(京都市上京区)
植物育成プラント事業に参画することを目的としてフェアリープラントテクノロジー社
(2010年9月29日フェアリーエンジェル社より商号変更)を連結子会社化
- 2009 自然光LEDの店舗用照明を開発。民生・商業分野へ参入
- 2010 三菱化学株式会社との間で資本・業務提携を締結
- 2011 タイ・バンコクにCCS Asia PTE.LTD.駐在員事務所を開設
CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTDを設立(インド)

参考資料:LED開発の歩み

- 1962年代 赤色と黄緑色が開発
- 1970年代 赤色と黄緑色が実用化
- 1993年 青色が製品化
- 1995年 純緑色の開発
光の三原色がそろう
- 1996年 白色が開発

- 現在 発光効率の向上
高演色性白色の開発

シーシーエスの事業領域

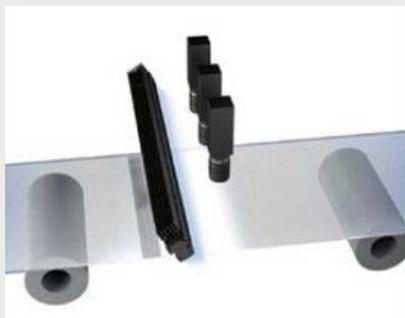
新規事業分野



工業用照明分野

マシンビジョン用照明分野

(エリア照明・ラインセンサ用照明)

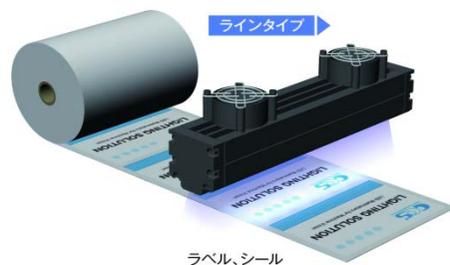


新規FA分野照明

(UV照射器

顕微鏡用照明)

■ UVインクの硬化



商業分野

美術館・博物館用照明



メディカル分野



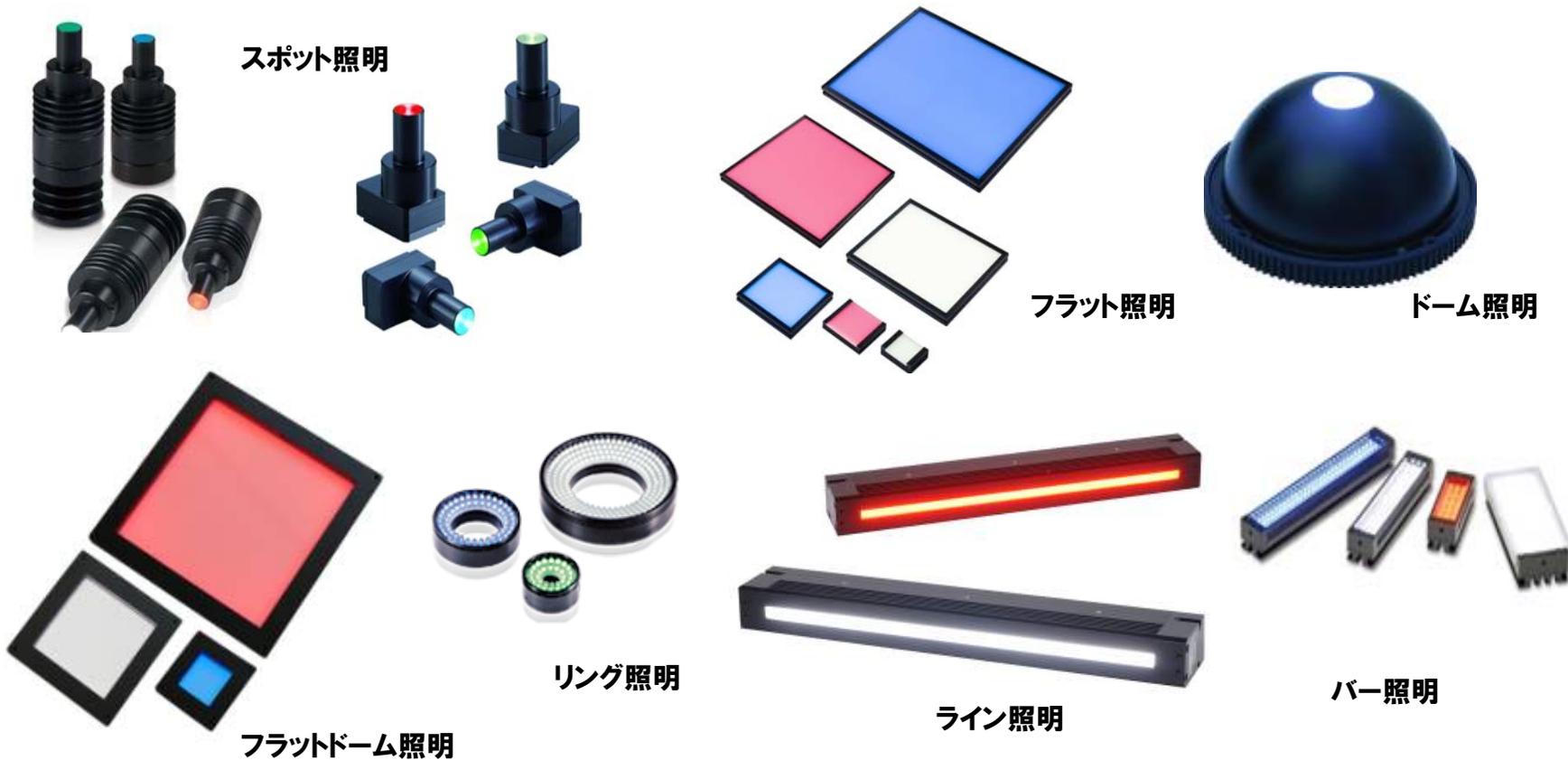
アグリバイオ分野



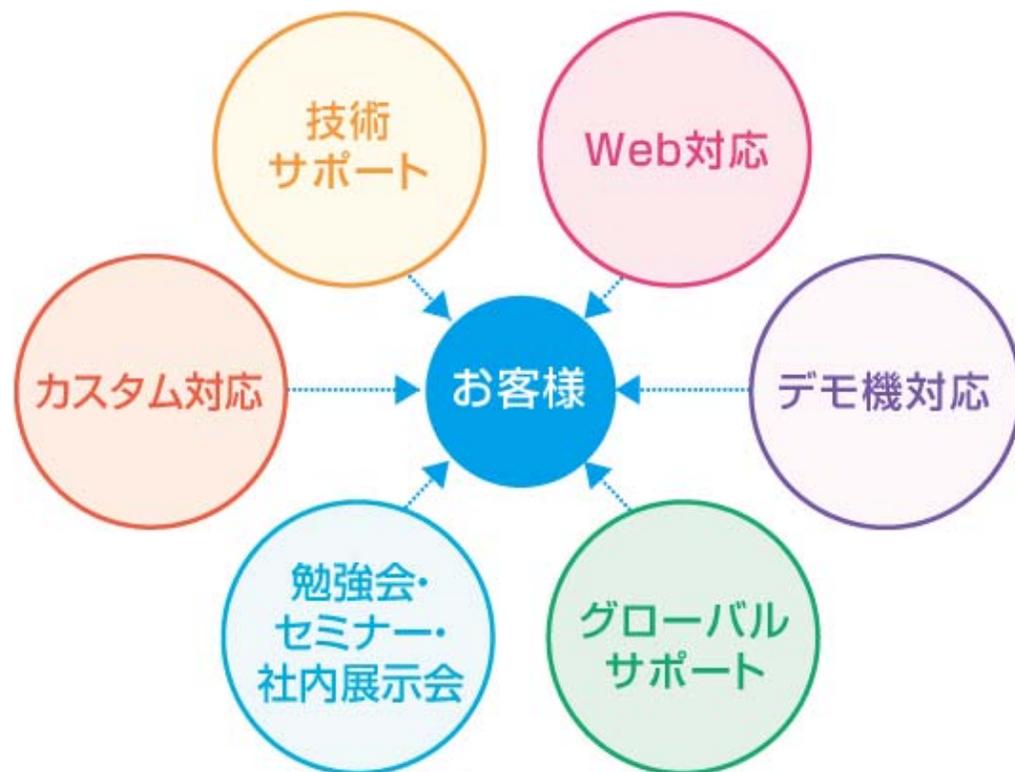
MV用LED照明のリーディングカンパニー

1993年創業以来、
画像処理用LED照明の専門メーカーとして信頼の実績

- ・約40,000件以上のワーク撮像
- ・約4,000種類のカスタム照明を設計・開発・製作

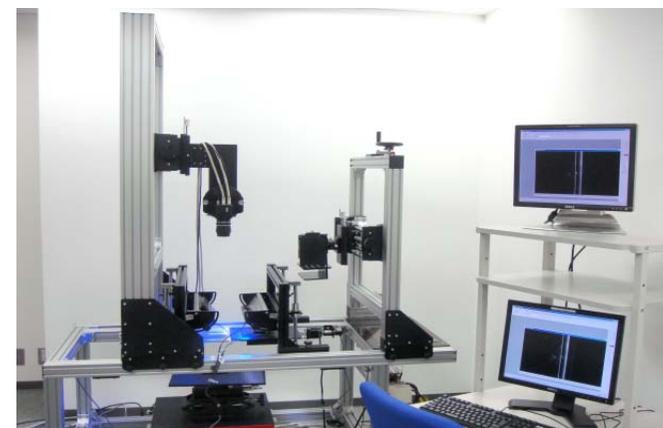


サポート体制



エリア実験室

ライン実験室



**数百種類・数千台に及ぶ
無料貸出機を準備**

エリア実験室・ライン実験室を完備

LEDデバイス技術 「自然光LED」

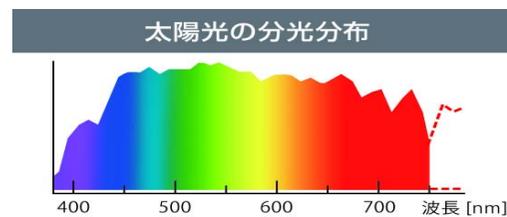


独自に開発した太陽光に近い光を再現する

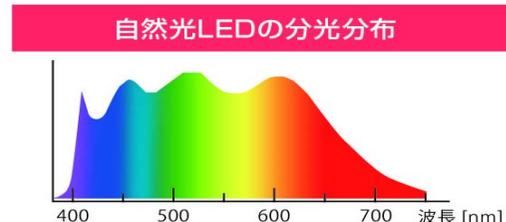
「自然光LED」

色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

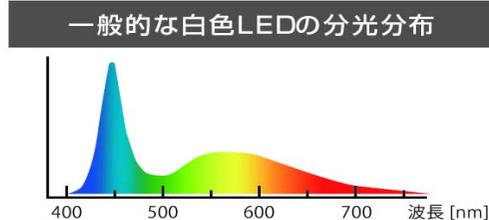
＊光の種類別スペクトル分布図例



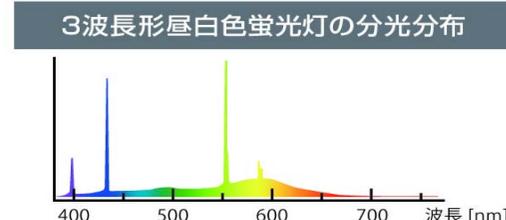
最も自然な色表現の太陽光



太陽光に近いスペクトルで
物体の色を忠実に再現



青色が強く、物体の色の再現が
不十分



特定の波長の強度が高く、
物体の色の再現が不十分



「自然光LED」
(平均演色評価数 Ra:98)



3波長蛍光灯 (Ra=70)

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力

商業施設の商品ディスプレイ用、ショーケース用照明

高い演色性
そのものの色を忠実に再現!

アパレル

洋服やネクタイ、バックや宝石、化粧品などの本来の色を忠実に再現!



自然光LED

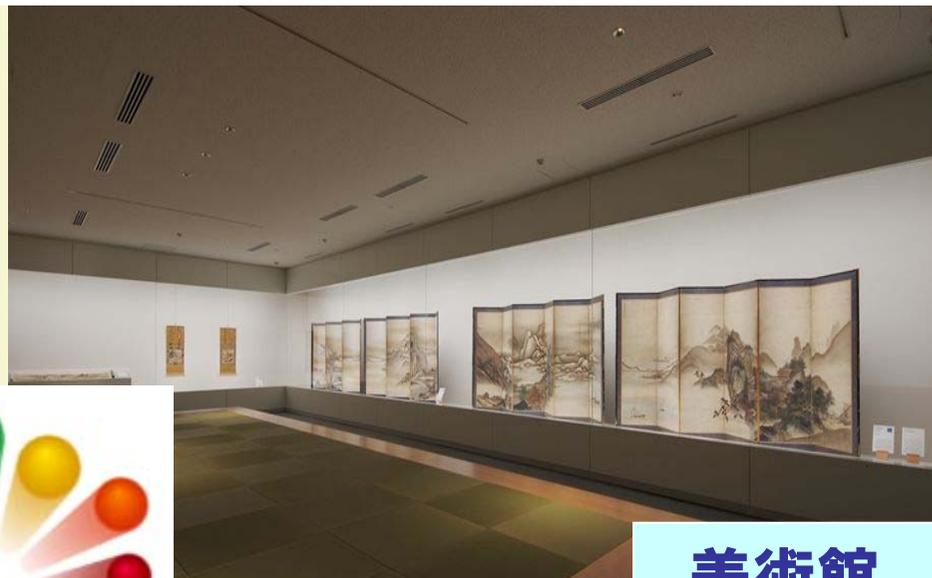
生鮮食品などのショーケース用照明

光源から熱を出さず
生鮮食品を傷めず、店内の空調コストも抑制できます。

こんなに見え方が違います!
特に赤い野菜や果物は自然光LEDの光で色が鮮やかに見えます。もちろん、手も自然光LEDのもとでは肌の色がきれいに見えます。



食品



美術館



ホテル・会場

